

天才アラキーの眼を磨け



[天才アラキーの眼を磨け 下载链接1](#)

著者:荒木 経惟

出版者:平凡社

出版时间:2002

装帧:A5判

isbn:9784582277487

アラーキーこと、写真家荒木経惟が若者たちに語る。

生いたち、学生時代、映画、書物、一番大切なこと、好きなカメラ、気になる写真家
一ちょっと真面目な、アラーキー的ひと言。

第1章

白い空間（白い空間に何もなかったら、そこに無情がある；なんでもないときに本当のことがある ほか）

第2章

眼を磨くんだよ。毎朝、歯を磨くみたいに。（指で思想を表すってこと；カメラを眼にしちゃえ ほか）

第3章

いちばんの裸って顔だよ。（オシャレは礼儀さ；シャッターチャンスって神のもの ほか）

第4章

たった一人の「プロヴォーク」（写真はピュアじゃなければ；「ひとりだけの七〇年 安保」だった ほか）

作者介绍:

荒木経惟 [アラキノブヨシ]

1940年5月25日、東京都台東区吉原の裏手にあたる三ノ輪に生まれ、浄閑寺や吉原界隈を遊び場にして育つ。1952年アマチュア写真家だった父親の撮影の手伝いをする中で次第にカメラになじむ。1956年都立上野高校に入学、写真家を志すようになる。1959年千葉大学工学部写真印刷工学科写真映画専攻に入学。1963年株式会社電通入社。電通のカメラマンとして広告写真を撮るかたわら、様々なスタイルを模索。1964年「さっちゃん」で第1回太陽賞受賞。1965年初めての個展。「さっちゃんとマー坊」（新宿ステーションビル）。1972年電通を退社。1974年東松照明、森山大道、細江英公らと共に、「ワークショップ写真学校」設立に参加。A a T R o o m設立

目录:

[天才アラーキーの眼を磨け_下载链接1_](#)

标签

荒木経惟

摄影

Photography

日本

日本寫真

影

图书馆

评论

感觉少了点什么

<http://www.douban.com/photos/album/39760957/>

图书馆真是好地方TAT

总觉得荒木经惟的镜头里总有些淡淡的失落感，更像是一种对于时间的祭奠，我不懂日文，所以并看不懂一些图片旁边的话语，只是单纯的从视觉上欣赏理解。

[天才アラーキーの眼を磨け_下载链接1_](#)

书评

天才アラーキーの眼を磨け 下载链接1